

東京 狛犬 楽会



2019.8.17 富が岡八幡宮

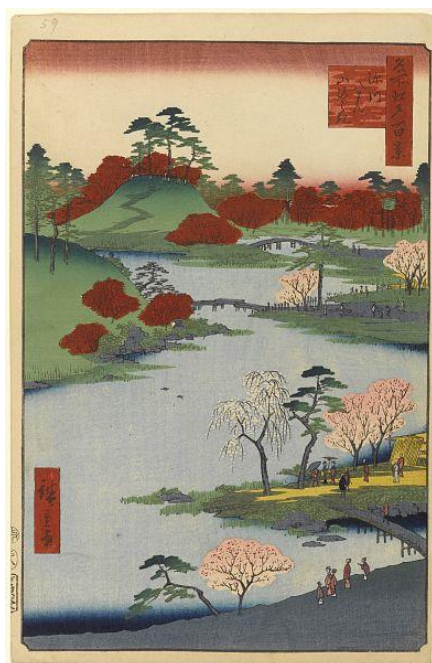
■東京十社 狛犬巡り

今年度4月から第4回目、とてつもない暑さの中、江東区の富が岡八幡宮に行きます。東京十社というのは明治政府が東京遷都の時に大宮の氷川神社の勅祭社とし、その他に12の神社を准勅祭社とした。しかしその制度はわずか3年間しか続かず、廃止されました。1975年になって12社のうち東京都心に近い10社が東京十社として復活し、東京十社巡りなどが企画されている。古い歴史があるものではない。

■富が岡八幡宮

1627年（寛永4年）に当時永代島と呼ばれた小島に創祀したのが始まりとされる。当時は「永代嶋八幡宮」と呼ばれ、砂州の埋め立てにより60,508坪の社有地があったといえます。

八幡神を尊崇した徳川家の保護を受け、庶民にも「深川の八幡様」として親しまれた。広い庭園は人気の名所であったという。別当寺院として永代寺も建立され、門前町としてにぎわっていました。



富が岡八幡は庶民には深川の八幡様として知られ、その祭りは江戸三大祭りとして大いににぎわった。8月15日が例大祭で、本日17日はつわものどもの夢の跡でしょうね。

■深川不動堂（尊）

本日は門前仲町の駅で集合しましたが、「門前」というのは富が岡八幡宮の別当寺であった永代寺の門の前という意味だった。

しかし永代寺は明治政府の廃仏毀釈の時に廃されて亡くなってしまった。その跡地は公園となったが、その後成田山新勝寺の東京別院である深川不動堂が作られた。もともと成田山の出開帳は永代寺で行われていたので、地元の人には違和感はなかったのだろう。



永代の名前は隅田川にかかる永代橋に残っている。1807年8月19日、江戸の町から永代橋を渡って深川八幡の大祭に集まった人々の重みで橋が落ちてしまった。人々は次から次へと押し掛けたために大勢が隅田川（大川）におちた。1000人以上の人がなくなったそう。

例大祭は8月15日のはずだが、雨で延期されていたので、晴れた19日より大勢が集まったらしい。

この時の永代橋は現在よりも100mほど上流にあった。泉岳寺へ向かう赤穂浪士は永代橋を渡った後に豊海橋を渡っていることによって証明されている。

■富が岡八幡宮の狛犬

前回の赤坂氷川神社には7対の狛犬がいたが、ここ富が八幡宮にも、私が数えただけで6対の狛犬がいる。深川不動堂から来ると裏側から入ることになるが、そこには富士塚の跡が残っている。上の浮世絵によれば庭園にはかなりの大きさの富士塚があった。残念ながら現在はその跡しかないが富士講の碑はいくつか残っている。

それを見ながら境内に入っていく。

●その1 富士浅間神社前



大正10年の狛犬、
製作者の名前確認

●その2 富士浅間神社 鳥居前

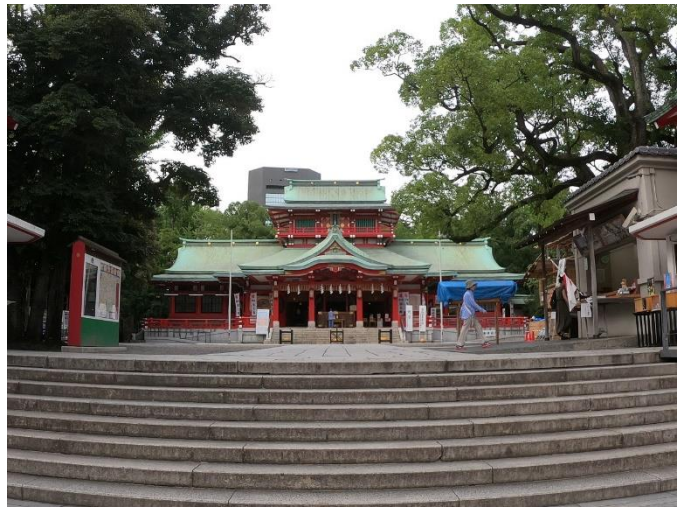


安政6年 1859年
一番古い
尾が大きく立派（江戸尾立） 阿吡の違いがあまりない

▲富士塚跡の碑



■正面の石段下



この石段御左右に大きな狛犬がいる。



鼻の穴が大きいのが特徴。

▲横綱の碑



富岡八幡宮は1684年（貞享元年）に初めて寺社奉行の許しを得て勧進相撲が行われた、江戸勧進相撲（現在の相撲の前身）発祥の神社として知られる。

現在でも新横綱誕生の折には境内で奉納土俵入りなどの式典が執り行われるほか、相撲にまつわる数々の石碑が建つ。

2017年（平成29年）6月9日、稀勢の里が横綱力士碑の刻名式に参加して、自らの四股名を刻んだ

■ 稲荷神社



鳥居の中の狛犬 2 対



8 月 15 日が例大祭。江戸三大祭り。すごい神輿。



伊能忠敬さんはここから日本全土の測量に出発。

■ 富が岡八幡は由緒ある神社であるが、2017 年凄惨な事件が起こり、評判はがた落ちになった。第 21 代の女性宮司が、第 20 代宮司だった弟夫婦に襲われ刺殺されたのだ。

評判の悪かった 20 代宮司は第 19 代宮司の親から排除された。それを恨んでの犯行だったという。参詣客 30 万人、数十億円の資産を有する神社。金がありすぎる悲劇だったかもしれない。

次回は 9 月 14 日（土）です。

東京 10 社狛犬巡り白山神社根津神社

集合場所：地下鉄三田線 白山駅改札

集合時間 1 時 30 分

